

教育委員会が目指す「教育イノベーション」

ICTを活用した「個別最適な学び」

個別最適な学びの 取り組み例

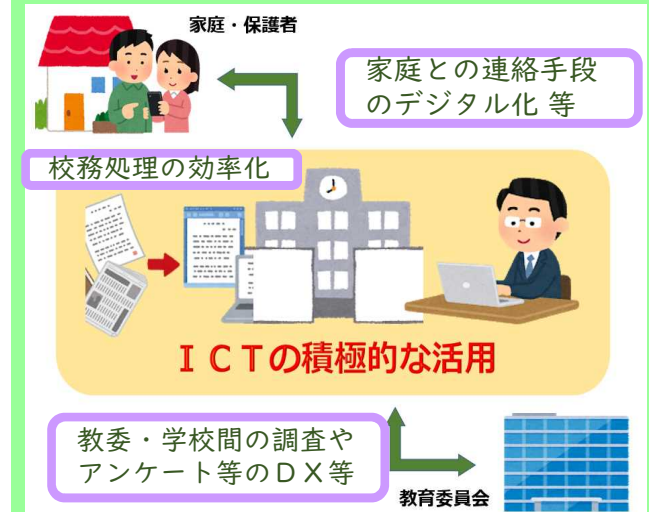


新しい学び

ICTを活用した「協働的な学び」



DX推進による働き方改革



【目標達成までの課題と対応策】

- 最先端のデジタル教育を目指しながら、県全体で地域差のないICTを活用した教育を目指すためには、引き続き技術支援が必要 → 「教育DX推進センター」
- 学校現場において、より効果的に1人1台端末を活用した個別最適な学びと協働的な学びを充実させるためには、人的支援が必要 → 「オンライン学習サポーター」
- 教育ビッグデータの活用環境を整え、生徒一人ひとりの教育の個別最適化を実現するためには、スタディ・ログ、ライフ・ログの活用研究が必要 → 「民間企業と連携したデータ活用事業」

ICT教育推進研究協議会【計3回（R4.5.2 R4.8.19 R5.2.17）】

【内容】 各WGで具体化された、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の取組について検討し、指導・助言を行い、今後の方向性を示す。

【構成メンバー】 ・県教育委員会（総務課【デジタル教育推進室】、学校人事課、義務教育課、高校教育課、特別支援教育課、健康体育課教育事務所、総合教育センター）
・市町村教育委員会（代表） ・小中学校長（モデル校等） ・高等学校長（モデル校等） ・特別支援学校長（実践協力校等）

【オブザーバー】 ・デジタル教育推進アドバイザー ・岡田DX推進監 ・文部科学省担当者 等



WG① 共通プラットフォーム活用（データ活用）

【内容】

- ・共通プラットフォームの運用
- ・小中高での教育データ（スタディ・ログ、ライフ・ログ)の活用
- ・多様な教育データの効果的な活用等

令和4年度の方向性

○民間企業との連携による健康データ活用の調査研究の推進（モデル校 23校）

○学習データの収集・分析及び学習データと健康データを関連づけた分析についての検討

WG②「新時代の学び」推進（小中学校）

【内容】 「ICTを活用した群馬ならではの新しい学び」の一層の推進に向けた協議・検討

令和4年度の方向性

- 「『はばたく群馬の指導プランⅡ』ICT活用Version」のアップデート
- 「『はばたく群馬の指導プランⅡ』ICT活用Version」に基づく実践の水平展開

WG②「新時代の学び」推進（高等学校）

【内容】 「県立高校等ICT活用モデル～Gunma Model Advanced～」の見直し、改善に向けた意見集約

令和4年度の方向性

- 「県立高校等ICT活用モデル～Gunma Model Advanced～」の周知と活用
- 効果的な活用方法の更なる研究・開発

WG②「新時代の学び」推進（特別支援学校）

【内容】 障害特性に応じたICTを活用した実践及び開発に係る研究の推進

令和4年度の方向性

- 実践協力校を中心としたICT機器を活用した実践事例動画の追加
- 効果的なICT機器の活用についての研修会等の開催

WG③ 業務改善推進

【内容】

- ・業務効率化の先進事例の収集・周知
- ・各学校における取組のフォローアップ 等

令和4年度の方向性

○ICTモデル校の取組を中心とした先進事例の収集と県内各校への周知

○各校の業務改善の取組を後押しする個別のフォローアップの実施